

これで安心、木造家屋の耐震補強。

救震棒

価格も安心、強度も安心。

1981年（昭和56年）6月に増改築法が改正され、耐震基準が強化されました。同年5月以前の大部分の木造建築物には耐震補強を施し、その基準を満たすことになります。1995年（平成7年）の阪神淡路大震災で、新しい耐震基準を満たした建物の被害が少なかったことが報告されています。

試験結果数値

一般財団法人日本建築総合試験所（試験番号：IJ12-0001）
木造用耐震補強工法の性能試験「商品名：球震棒」報告書により
結果数値は ①1.92kn ②2.16kn ③2.47kn 平均値2.18knであり
性能試験結果
 $0.2Pu\sqrt{(2\mu-1)}$ の値を壁長さ1.82m
壁強さ倍率は、 $7.61/1.82=4.18kn/m$

特許取得済

第4257681号

早く

壁を剥がさずに取り付けられるので、
4～10日で設置完了。

安く

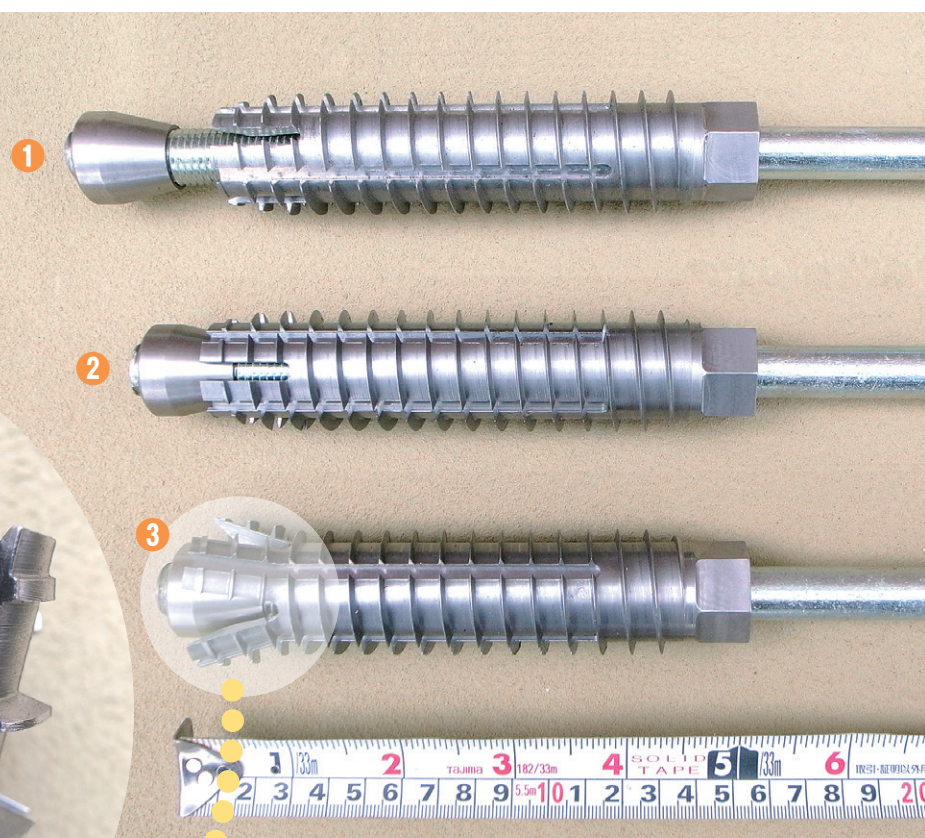
工期も短く、材料も少ないので、1カ所の施工価格は
他社にはない価格。

強く

独自の特殊構造のため
壁倍率は2.0。

試験結果

壁倍率	2.0
一般財団法人 日本建築総合試験所 大阪試験研究センター	



木材の梁の中に埋め込まれた螺旋状の部分が、ねじ込まれることにより、①の状態から②の状態を経て、③の位置では、スリットの入った先端部分が開き、引張り強度を増します。

桁側
木工アンカーを斜めの角度で挿入後、
ポリカ材質の壁プレートで壁面を覆う。

上部と下部をターンバックルで頑丈に結束。



基礎コンクリート側
基礎アンカー及び基礎プレートを取り付け、炭素繊維プレートで補強。弊社指定エポキシ樹脂で接着。

ケミカルアンカー450GL充填

施工例

